

各学年の指導事項と授業時数の配当（第1・2学年）

学年	月	ページ	単元名	教材名	学習指導要領の内容			配当時数
					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		その他の指導事項	
					(2)の事項	(1)の事項		
1	4	表2-P1	1 はじめに	あさ（そらがき）	ア			適宜
		P2-3		じを かく しせい	ア			2～3
		P4-6		えんぴつの もちかた	ア			
	5	P7-8	2 ひらがな	ひらがな あつまれ	ア・イ	ウ(ア)		適宜
		P9		かきじゅん	ア・イ	ウ(ア)		1
	P10-11	「とめ」と「はらい」		ア・イ	ウ(ア)		2	
	6	P12-13		「まがり」と「おれ」	ア・イ	ウ(ア)		2
		P14-15		「むすび」	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)		2
	7	P16-17	すきな こと, なあに <こくご>	ア	イ(エ)(オ), ウ(ア)	B(1)ウ・エ(2)ウ	2	
	9	P18	にて いる ひらがな	ア・イ	ウ(ア)		2～3	
		P19	じの かたち	ア・イ	ウ(ア)			
	10	P20-21	3 かたかな	かたかなの かきかた	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)		2
		P22-23		かたかな あつまれ	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)		適宜
	11	P24-25	4 かん字	「とめ」「はね」「はらい」	ア・イ	ウ(イ)		2
P26-27		「おれ」「まがり」「そり」		ア・イ	ウ(イ)		2	
12	P28	5 かん字と かたかな	かきじゅん	ア・イ	ウ(ア)(イ)		2～3	
	P29		字の かたち	ア・イ	ウ(ア)(イ)			
1-3	P30-31	6 まとめ	にて いる かん字と かたかな	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)(イ)		2	
	P32-33		かきぞめ	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ)		5～6	
適宜	P34-35	しりょう	一年生の まとめ	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ)	B(1)ウ・エ(2)イ	2～3	
	P36-37		よこがきの かきかた	イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)	B(1)ウ・エ(2)イ	適宜	
	P38-39	一年生で ならう かん字	ア・イ	ウ(イ)		適宜		
2	4	表2-P1	1 はじめに	正しいのは, どちらかな	イ			適宜
		P2-3		字を 書く しせい	ア			2～3
		P4-5		えんぴつの もち方	ア			
	5	P7-8	2 かん字の 書き方	書きじゅん	イ	ウ(ウ)		2
		P9		点と 画の 名前	イ	ウ(ウ)		1
	6	P10-11		「はらい」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)		2
		P12-13		「おれ」の ほうこう	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)		2
	7	P14-15		げんこう用紙に 書く とき <国語>	ア	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)エ	2
		P16		「そり」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)		2～3
	9	P17		「点」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)		
		P18		画の 長さ	ア・イ	ウ(ウ)		2～3
	10	P19		点や 画の 間	ア・イ	ウ(ウ)		
		P20-21		画の つき方と 交わり方	ア・イ	ウ(ウ)		2
	11	P22-23		点や 画の 書き方の まとめ	ア・イ	イ(オ), ウ(ア)(ウ)		2
		P24		字の 形	ア・イ	ウ(ウ)		2
	12	P25	字の 中心	ア・イ	ウ(ウ)		2	
		1-3	P26-27	3 まとめ	書きぞめ	ア・イ	イ(オ), ウ(ア)(ウ)	
P28-29	二年生の まとめ		ア		イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)イ	2～3	
適宜	P30-31	しりょう	手紙の 書き方	イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)オ	適宜	
	P32		ひらがな/かたかな	ア・イ	ウ(ア)			
P33	一年生で 学んだ かん字		ア・イ	ウ(ウ)				
P34-35	二年生で 学ぶ かん字		ア・イ	ウ(ウ)				
2-3	P36		「もっと 知りたい」えんぴつが できるまで	ア			1	
	P37		できて いるかな	ア				

学習指導要領の内容（第1・2学年） ※該当箇所抜粋

B 書くこと	(1)指導事項	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら, つながりのある文や文章を書くこと。 エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いなどに気付き, 正すこと。
	(2)言語活動例	イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。
		ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。
		エ 紹介したいことをメモにまとめたり, 文章に書いたりすること。 オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)言葉の特徴やきまりに関する事項	(エ) 長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記ができ, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」を文の中で正しく使うこと。 (オ) 句読点の打ち方や, かぎ(「」)の使い方を理解して文章の中で使うこと。
		(ア) 平仮名及び片仮名を読み, 書くこと。また, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。 (イ) 第1学年においては, 別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み, 漸次書き, 文や文章の中で使うこと。 (ウ) 第2学年においては, 学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また, 第1学年に配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使うとともに, 第2学年に配当されている漢字を漸次書き, 文や文章の中で使うこと。
	(2)書写に関する事項	ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし, 文字の形に注意しながら, 丁寧に書くこと。 イ 点画の長短や方向, 接し方や交わり方などに注意して, 筆順に従って文字を正しく書くこと。

年間指導計画 1年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	あさ(そらがき) [教科書 巻頭] ◎腕を大きく動かして「あさ」を空書きし、書写学習に対する関心を高めることができる。[伝国(2)ア]	適宜	1 腕を大きく動かして「あさ」を空書きする。 2 「あ」や「さ」がつく言葉を探して空書きしたり、教科書の文字を指でなぞったりする。	【関】 書写学習に興味を示し、文字を大きく空書きしようとしている。 【知】 書写学習では文字を学習することを理解している。 【技】 楽しみながら空書きしている。
	1. はじめに			
	じを かく しせい [教科書P2-3] ◎文字を書くときの姿勢を理解することができる。[伝国(2)ア]	2~3	1 P2-3の写真を見て、文字を書くときの姿勢を知る。 2 唱歌「あしは ペったん。せなかは びん。…」に合わせて姿勢を確かめる。	【関】 文字を書くときの姿勢を意識し、唱歌に合わせた姿勢をとろうとしている。 【知】 文字を書くときの姿勢を理解している。 【技】 唱歌に合わせて姿勢をしている。
えんぴつの もちかた [教科書P4-6] ◎鉛筆の持ち方を理解し、いろいろな線を書くことができる。[伝国(2)ア]		1 P4-6の写真や唱歌を見て、鉛筆の持ち方を知る。 2 P5-6を見て、手の置き方を知る。 3 これまでに学習した文字を書くときの姿勢と鉛筆の持ち方で、いろいろな線を書く。	【関】 教科書の絵や写真のように、鉛筆を持つようとしている。 【知】 鉛筆の持ち方を理解している。 【技】 学習した姿勢や鉛筆の持ち方で、いろいろな線を書いている。	
5月	2. ひらがな			
ひらがな あつまれ [教科書P7-8] ◎平仮名の五十音表を見ながら、自分の名前を丁寧に書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	適宜	1 平仮名の五十音表から、自分の名前の文字を探して印をつける。 2 濁点・半濁点の書き方の約束を知る。 3 自分の名前を平仮名で書く。	【関】 自分の名前の文字を意欲的に探そうとしている。 【知】 濁点や半濁点の書き方を理解している。 【技】 自分の名前を丁寧に書いている。	
かきじゅん [教科書P9] ◎平仮名の筆順に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1	1 筆順番号に沿って「こい」を指でなぞり、平仮名には「かきじゅん」があることを知る。 2 筆順にしたがって、「こい」を鉛筆でなぞる。	【関】 筆順にしたがってなぞろうとしている。 【知】 平仮名には筆順があることを理解している。 【技】 筆順にしたがって「こい」を指や鉛筆でなぞっている。	
「とめ」と「はらい」 [教科書P10-11] ◎平仮名の終筆(止め・払い)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	2	1 終筆に気を付けて「くつ」を指でなぞり、止め・払いの書き方を知る。 2 鉛筆で止め・払いをもつ線をなぞる。 3 止め・払いの書き方に気を付けて「くつ」「うし」「かさ」などを鉛筆でなぞる。	【関】 止め・払いの書き方に気を付けて書こうとしている。 【知】 止め・払いの書き方を理解している。 【技】 止め・払いの書き方に気を付けて、指や鉛筆でなぞっている。	
6月	「まがり」と「おれ」 [教科書P12-13] ◎平仮名の送筆(曲がり・折れ)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	2	1 「の」を指でなぞり、曲がりの書き方を知る。 2 曲がりの書き方に気を付けて、曲がりをもつ線や「つの」「あめ」「もち」を鉛筆でなぞる。 3 「ろ」を指でなぞり、折れの書き方を知る。 4 折れの書き方に気を付けて、折れをもつ線や「くろ」「そら」「ゆめ」を鉛筆でなぞる。	【関】 曲がり・折れの書き方に気を付けて書こうとしている。 【知】 曲がり・折れの書き方を理解している。 【技】 曲がり・折れの書き方に気を付けて、指や鉛筆でなぞっている。
「むすび」 [教科書P14-15] ◎平仮名の送筆(結び)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)ア・イ]	2	1 「ます」の赤い線を指でなぞり、結びの書き方と形の違いを知る。 2 促音や拗音、句読点の書き方を知る。 3 結びの書き方に気を付けて、「よる」「むね」などを鉛筆でなぞる。	【関】 結びの書き方に気を付けて書こうとしている。 【知】 結びの書き方と形の違いを理解している。 【技】 結びの書き方に気を付けて、指や鉛筆でなぞっている。	
7月	すきな こと、なあとに <こくご> [教科書P16-17] ◎これまでに学習したことを生かして、丁寧に書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)ア] ○好きなことを紹介する文を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)ウ]	2	1 ます目の用紙と罫線の用紙それぞれの、文の書き始めや句読点などの書き方を知る。 2好きなことを紹介する文を、姿勢や鉛筆の持ち方、平仮名の筆順や終筆・送筆の書き方に気を付けて、丁寧に書く。	【関】 これまでに学習したことを生かして、丁寧に書こうとしている。 【知】 ます目と罫線に対する促音・拗音・句読点の書き方を理解している。 【技】 姿勢や鉛筆の持ち方、平仮名の筆順や終筆・送筆の書き方に気を付けて、丁寧に書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
9月	に いて る ひらがな [教科書P18] ◎形が似ている平仮名の違いに気を付けて、正しく書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	2～3	1 「ち」と「ら」の違いを見つけて、話し合う。 2 P18の文字の違いを見つけて、話し合う。 3 違いに気を付けて鉛筆でなぞる。 4 違いに気を付けて「さつき」を書く。	【関】 形が似ている平仮名の違いを進んで見つけようとしている。 【知】 それぞれの文字の違いを理解している。 【技】 それぞれの文字の違いに気を付けて、正しく書いている。
	じの かたち [教科書P19] ◎平仮名の外形に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]		1 「ひつじ」や絵を見て、文字には真四角・横長四角・縦長四角などの形があることを知る。 2 外形に気を付けて、「ひつじ」「ねこ」を書く。	【関】 外形に気を付けて書こうとしている。 【知】 それぞれの文字の外形を理解している。 【技】 平仮名の外形に気を付けて書いている。
10月	3. かたかな			
	かたかなの かきかた [教科書P20-21] ◎片仮名の終筆(止め・はね・払い)と送筆(折れ・曲がり)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア), (2)ア・イ]	2	1 「ハ・オ・サ」を指でなぞり、画の終筆の止め・はね・払いの書き方を確かめる。 2 終筆の書き方に気を付けて、「ハンバーグ」「オレンジ」「サラダ」を鉛筆でなぞる。 3 「フ・ヒ」を指でなぞり、画の送筆の折れ・曲がりの書き方を確かめる。 4 送筆の書き方に気を付けて「プリン」「ピラフ」を鉛筆でなぞる。	【関】 片仮名の画の終筆や送筆の書き方に気を付けて書こうとしている。 【知】 片仮名の画の終筆と送筆の書き方を理解している。 【技】 片仮名の画の終筆や送筆の書き方に気を付けて、指や鉛筆でなぞっている。
	かたかな あつまれ [教科書P22-23] ◎片仮名の五十音を終筆や送筆の書き方、筆順などに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア), (2)ア・イ]	適宜	1 促音や長音の書き方知り、「ゴリラ」「ラケット」「トースト」を鉛筆でなぞる。 2 画の終筆や送筆、筆順などに気を付けて、自分の名前を片仮名で書く。	【関】 自分の名前前の文字を表から探し、意欲的に書こうとしている。 【知】 促音や長音の書き方を理解している。 【技】 画の終筆や送筆の書き方、筆順などに気を付けて、自分の名前を正しく片仮名で書いている。
	4. かん字			
「とめ」「はね」「はらい [教科書P24-25] ◎漢字の画の終筆(止め・はね・払い)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]	2	1 「小・大」を指でなぞり、漢字の画の終筆(止め・はね・払い)の書き方を知る。 2 画の終筆(止め・はね・払い)に気を付けて、止め・はね・払いをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【関】 漢字の画の終筆の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】 漢字の画の終筆(止め・はね・払い)の書き方を理解している。 【技】 漢字の画の終筆(止め・はね・払い)の書き方に気を付けて、正しく書いている。	
「おれ」「まがり」「そり [教科書P26-27] ◎漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]	2	1 「日・七・子」を指でなぞり、漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)の書き方を知る。 2 画の送筆(折れ・曲がり・反り)に気を付けて、折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【関】 漢字の画の送筆の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】 漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)の書き方を理解している。 【技】 漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)の書き方に気を付けて、正しく書いている。	
5. かん字と かたかな				
かきじゅん [教科書P28] ◎筆順の原則(上から下へ・左から右へ)を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	2～3	1 「上から下へ」「左から右へ」という筆順の原則を知る。 2 筆順の原則にしたがって、漢字や片仮名を書く。	【関】 筆順の原則にしたがって書こうとしている。 【知】 筆順の原則を理解している。 【技】 筆順の原則にしたがって、正しく書いている。	
字の かたち [教科書P29] ◎漢字や片仮名の外形に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]		1 「十・二・月」や絵を見て、漢字にも真四角・横長四角・縦長四角などの形があることを知る。 2 外形に気を付けて、「十二月」「パン」を書く。	【関】 外形に気を付けて書こうとしている。 【知】 それぞれの文字の外形を理解している。 【技】 外形に気を付けて、漢字や片仮名を書いている。	
に いて る かん字と かたかな [教科書P30-31] ◎形が似ている漢字や片仮名の違いに気を付けて、正しく書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	2	1 「三」と「ミ」の違いを見つけて、話し合う。 2 「八・ハ」や「ソ・ツ・ン・シ」の違いを見つけて、話し合う。 3 画の長さや向きに気を付けて、「八人」「ハム」「マラソン」「シャツ」を書く。	【関】 形が似ている漢字や片仮名の違いを進んで見つけようとしている。 【知】 それぞれの文字の違いを理解している。 【技】 それぞれの文字の違いに気を付けて、正しく書いている。	

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
1月	6. まとめ			
	かきぞめ [教科書P32-33] ◎これまでに学習したことに気を付けて書くことができる。 [伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	5～6	1 書き初めについて知る。 2 P32「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確認する。 3 これまでに学習したことや文の書き始めや句読点の書き方に気を付けて鉛筆で文章を書く。 4 フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「ふじ山」を書く。	【関】 これまでに学習したことに気を付けて、意欲的に書こうとしている。 【知】 これまでに学習したことを理解している。 【技】 これまでに学習したことに気を付けて、丁寧に書いている。
2月 3月	一年生の まとめ [教科書P34-35] ◎1年生で学習したことを振り返り、書いて確かめることができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)イ]	2～3	1 問題を解いたり、文字を書いたりして、平仮名・片仮名・漢字の終筆・送筆の書き方と外形を確かめる。 2 これまでに学習したことに気を付けて、1年生の思い出を書く。	【関】 1年間の学習を振り返り、意欲的に取り組もうとしている。 【知】 終筆・送筆の違い、外形を理解している。 【技】 終筆・送筆、外形に気を付けて、丁寧に書いている。
適宜	しりょう			
	よこがきの かきかた [教科書P37-36] ◎横書きの書き方を理解して書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)イ] ○観察したことを記録する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)イ]	適宜	1 横書きの書き方や数字の書き方を知る。 2 横書きで観察日記を書く。	【関】 横書きの書き方に関心を持ち、意欲的に書こうとしている。 【知】 横書きの書き方を理解している。 【技】 横書きの書き方を理解して書いている。
	一年生で ならう かん字 [教科書P38-39] ◎1年生で学習する漢字の書き方を確かめることができる。 [伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]		1 漢字の画の終筆・送筆の書き方、筆順の原則、外形など、学習したことを振り返る。 2 1で確認した内容に当てはまる文字を探して書く。	【関】 既習事項に当てはまる文字を進んで見つけようとしている。 【技】 画の終筆・送筆の書き方、筆順や外形などに気を付けて書いている。